

2018

LIP 横浜
Life Innovation Platform YOKOHAMA

事業計画策定支援セミナーⅡ

12/14 (Fri)

13:30~17:00

(13:00受付開始)

TKPガーデンシティPREMIUM
みなとみらい ホールD

横浜市西区みなとみらい3丁目6番3 MMパークビル5階

みなとみらい線 みなとみらい駅 4出口 徒歩1分

会場アクセス JR京浜東北線 桜木町駅北1出口 徒歩15分

JR京浜東北線 横浜駅きた東口A 車10分

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-minatomirai/access/>

今回のセミナーでは、現経営者やベンチャーキャピタルの方々に過去の典型的な失敗系経験について、その経緯、原因、(現状であれば取ったであろう)回避の方法などについて教授いただいた上で、研究開発型企業の経営に向けた提言をいただきます。

現状では成功している企業の過去に実際に起こった失敗事例を学ぶことで、これらを回避するための事前の計画立案や戦略の見直しの必要性などについて理解が深まることが期待できます。

医療・介護・健康関連産業に関心のある企業経営者・従業員、起業家の方、又は研究開発型企業の経営に興味のある多くの皆様の申し込みをお待ちしております。

参加 無料 (事前申込制、先着順)

定員 150名 ※満席になり次第、締め切ります。

下記の入力フォームよりお申し込みください。

セミナーエントリーフォーム

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

＜申込時必要事項＞

事業者名・所在地・参加者氏名(部署名・役職)・連絡先

<http://www.murc.jp/sp/1810/lip-yokohama/form.html>



申込期間

平成30年10月30日(火)~12月12日(水)

(注意事項) ◎会場内では発表スライドの写真撮影、ビデオ撮影、録音を禁止します。◎会場では、記録等のため写真・動画を撮影します。また、メディアの取材を受けることがあります。予めご了承ください。◎個人情報三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「個人情報保護方針」に基づき取り扱いします。

主催：公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団(神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6)

セミナー事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社社内

担当：武田・丹羽(経営コンサルティング第一部)

E-mail: seminar-kihara@murc.jp 電話：03-6733-1012

(問合せ受付：平日10:00-12:00、13:00-16:00)

失敗事例から学ぶ
研究開発型企業の
経営・新事業展開のポイント
先人の失敗の裏にある成功のコツ

バイオ・医療機器
ベンチャーの
事例を中心に



LIP. 横浜
中小・ベンチャー企業等支援事業

Program

LIP. 横浜事業計画策定支援セミナーII
「失敗事例」から学ぶ
研究開発型企業の
経営・新事業展開のポイント
～先人の失敗の裏にある成功のコツ～

バイオ・医療機器
ベンチャーの
事例を中心に

第一部 〈講演〉 (13:35～)

1. ベンチャーキャピタリストによる講演 (13:35～)

長谷川 宏之 (三菱UFJキャピタル株式会社 執行役員 ライフサイエンス部長)

「各ステージにおけるベンチャー企業の課題や失敗の事例と失敗回避のために事前に取り組むべき事項」
ベンチャーキャピタリストとして多くのバイオベンチャーの経営に携わる中で実際に生じた困難・失敗事例の紹介、事前回避のための各種施策のご紹介。

2. 企業事例紹介 (13:55～)

井家 益和 (株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 執行役員 研究開発本部長) (13:55～)

「再生医療等製品の開発・実用化における困難・失敗事例と克服のポイント」

我が国において、再生医療の領域でのビジネスをリードする企業。再生医療等製品の開発・実用化までに乗り越えてこられた失敗・課題と、その克服に至る経緯等のご紹介。

松山 哲人 (ナノキャリア株式会社 取締役CSFO兼社長室長) (14:20～)

「上場までのプロセスにおける失敗事例と克服のポイント」

2008年に上場するまでに経験した各種失敗事例の紹介と、それを乗り越えて現在に至るまでの生々しい話のご紹介。

仙田 哲 (株式会社ジェノメンブレン 取締役) (14:45～)

「数々の失敗を重ねながらも16年」

先進的な技術で生まれたベンチャー会社であったが思うような展開が図れずに失敗の連続であった。それでも何とかその都度対応して16年事業を継続してきた経緯をご紹介。

休憩(5分間、15:10～15:15)

山森 伸二 (日本光電工業株式会社 荻野記念研究所 フェロー) (15:15～)

「当社における医療機器開発プロジェクトの失敗・成功経験」

医療機器を開発・製造・販売する東証一部上場企業として、これまでに経験してきた医療機器開発の事例を踏まえ、困難・失敗と克服のポイントをご紹介。

薬袋 博信 (株式会社常光 札幌研究開発室 兼 医療機器・診断薬事業本部学術マーケティング課 課長) (15:40～)

「医療機器の開発・実用化の過程における失敗事例と克服のポイント」

各種臨床検査機器を主力とし、外部と積極的に連携して開発・実用化に取り組む医療機器メーカー。これまでの経験を踏まえ、医療機器の開発・実用化の過程での困難や失敗の例、打開のポイントなどをご紹介。

高木 智史 (バイオ・アクセラレーター株式会社 代表取締役) (16:05～)

「過去の医工連携ベンチャー経営における失敗事例の紹介と技術系スタートアップベンチャーの立ち上げ事例」

過去に経営して破綻したバイオベンチャーの失敗理由の分析と、そこから得たベンチャー経営の課題、あるべき姿、実際の立ち上げ事例のご紹介。

第二部 〈質疑応答、パネルディスカッション〉 (16:30～)

参加者の皆さまより事前にいただいた課題について登壇者でご議論頂きます。